

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成29年8月4日

【四半期会計期間】 第72期第1四半期(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

【会社名】 ペガサスミシン製造株式会社

【英訳名】 PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 美馬成望

【本店の所在の場所】 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

【電話番号】 06-6451-1351

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 吉田泰三

【最寄りの連絡場所】 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

【電話番号】 06-6451-1351

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 吉田泰三

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第 1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第71期 第1四半期 連結累計期間	第72期 第1四半期 連結累計期間	第71期
	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	5,512,022	4,418,831	18,961,698
経常利益 (千円)	537,681	740,154	2,831,796
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	399,175	475,896	2,103,754
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	860,544	4,482	876,200
純資産額 (千円)	19,761,955	20,956,880	21,250,593
総資産額 (千円)	28,167,732	28,052,713	28,468,864
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	16.09	19.18	84.79
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	67.9	72.5	72.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、米国の政策動向や地政学的リスクの高まりなどにより景気の先行きは不透明感が残されております。

世界経済につきましては、米国経済は雇用情勢の改善や個人消費が底堅く推移し、欧州経済も緩やかな回復が続きました。中国をはじめ新興国経済は持ち直しの動きが見られました。

工業用ミシンにつきましては、繊維産業の集積地であった中国からその他のアジアを中心に縫製拠点を移転させる動きが継続しておりますが、アジア市場や米州市場における需要は前年同四半期に比べ低調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、需要は概ね緩やかに推移いたしました。

このような環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は44億18百万円（前年同四半期比19.8%減）となり、営業利益は6億72百万円（前年同四半期比28.1%減）、経常利益は為替差益の計上などにより7億40百万円（前年同四半期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億75百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### （工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、縫製産地の流動化に応じた販売戦略の展開やコストダウンに努めましたが、売上高は37億4百万円（前年同四半期比22.6%減）、営業利益は9億15百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

#### （ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、販路の拡大に向けた販売活動を行い需要は概ね緩やかに推移したものの、円高の影響により売上高は7億14百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は86百万円（前年同四半期比19.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少し、280億52百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億28百万円減少し、213億75百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品が2億6百万円、受取手形及び売掛金が1億41百万円それぞれ減少し、商品及び製品が1億58百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億87百万円減少し、66億77百万円となりました。これは、有形固定資産が1億73百万円減少したことなどによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億76百万円減少し、48億98百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億30百万円、その他流動負債が2億40百万円それぞれ減少し、短期借入金が1億98百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3億53百万円増加し、21億97百万円となりました。これは、長期借入金が3億65百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億93百万円減少し、209億56百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が4億89百万円減少し、利益剰余金が2億27百万円増加したことなどによります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間においては、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社企業グループ全体の研究開発活動の金額は、1億7百万円でありませ

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,928,000
計	76,928,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月4日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,828,600	24,828,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	24,828,600	24,828,600		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月30日		24,828,600		2,255,553		2,158,010

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成29年3月31日に基づく株主名簿により記載しております。

## 【発行済株式】

平成29年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 17,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,809,100	248,091	
単元未満株式	普通株式 1,600		
発行済株式総数	24,828,600		
総株主の議決権		248,091	

## 【自己株式等】

平成29年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ペガサスミシン製造 株式会社	大阪市福島区鷺洲 五丁目7-2	17,900		17,900	0.07
計		17,900		17,900	0.07

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,906,902	7,004,251
受取手形及び売掛金	4,802,548	4,660,884
有価証券	110,821	110,840
商品及び製品	4,311,440	4,469,958
仕掛品	766,679	689,440
原材料及び貯蔵品	3,671,098	3,464,579
その他	1,167,724	1,124,128
貸倒引当金	133,071	148,547
流動資産合計	21,604,144	21,375,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,964,362	2,815,427
その他（純額）	2,923,936	2,899,229
有形固定資産合計	5,888,298	5,714,656
無形固定資産		
投資その他の資産	626,554	602,548
固定資産合計	349,865	359,972
固定資産合計	6,864,719	6,677,177
資産合計	28,468,864	28,052,713
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,539,234	1,208,729
短期借入金	1,159,224	1,357,258
未払法人税等	698,303	680,957
賞与引当金	208,349	122,819
その他	1,769,560	1,528,704
流動負債合計	5,374,671	4,898,468
固定負債		
社債	426,570	425,880
長期借入金	333,220	698,900
退職給付に係る負債	631,376	611,085
その他	452,432	461,498
固定負債合計	1,843,599	2,197,364
負債合計	7,218,270	7,095,832



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	13,738,551	13,966,341
自己株式	5,350	5,350
株主資本合計	18,971,838	19,199,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,660	8,834
為替換算調整勘定	1,741,477	1,252,176
退職給付に係る調整累計額	133,565	125,590
その他の包括利益累計額合計	1,610,572	1,135,421
非支配株主持分	668,181	621,830
純資産合計	21,250,593	20,956,880
負債純資産合計	28,468,864	28,052,713

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,512,022	4,418,831
売上原価	3,333,339	2,534,673
売上総利益	2,178,682	1,884,158
販売費及び一般管理費	1,243,008	1,211,459
営業利益	935,673	672,698
営業外収益		
受取利息	21,245	4,928
受取配当金	3,837	1,918
為替差益		58,207
その他	7,636	15,475
営業外収益合計	32,719	80,529
営業外費用		
支払利息	16,293	12,225
為替差損	412,474	
その他	1,945	849
営業外費用合計	430,712	13,074
経常利益	537,681	740,154
特別利益		
固定資産売却益		721
退職給付に係る負債戻入額		11,716
特別利益合計		12,437
税金等調整前四半期純利益	537,681	752,591
法人税、住民税及び事業税	180,552	189,405
法人税等調整額	63,513	69,955
法人税等合計	117,039	259,361
四半期純利益	420,642	493,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,467	17,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	399,175	475,896

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	420,642	493,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,065	6,174
為替換算調整勘定	1,262,848	511,862
退職給付に係る調整額	8,727	7,974
その他の包括利益合計	1,281,186	497,713
四半期包括利益	860,544	4,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	821,074	744
非支配株主に係る四半期包括利益	39,470	5,227

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
減価償却費	164,934千円	190,983千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月21日 定時株主総会	普通株式	248,106	10.00	平成28年3月31日	平成28年6月22日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、上場10周年記念配当3円を含んでおります。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月21日 定時株主総会	普通株式	248,106	10.00	平成29年3月31日	平成29年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	工業用マシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,784,055	727,966	5,512,022		5,512,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,784,055	727,966	5,512,022		5,512,022
セグメント利益	1,108,736	107,934	1,216,671	280,997	935,673

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	工業用マシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,704,161	714,669	4,418,831		4,418,831
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,704,161	714,669	4,418,831		4,418,831
セグメント利益	915,673	86,516	1,002,189	329,491	672,698

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円09銭	19円18銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	399,175	475,896
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	399,175	475,896
普通株式の期中平均株式数(株)	24,810,656	24,810,656

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年8月3日

ペガサスミシン製造株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 井 尚 志 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡 田 明 広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているペガサスミシン製造株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ペガサスミシン製造株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。